

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

毎日大リーグで活躍する大谷翔平選手や日本人の活躍に心躍らされる人は多いはずだ。

Sあわせておよそ200試合を中継。テレビのインベーションを指し「新しい未来のテレビ」として展開する動画配信のABEMAは公式戦324試合を生中継するなど日本人の活躍は欠かせない情報素材だ。

このベースと呼び合った球技の遊びがあった。近所の境内や空地を使い集まる人数でルールはさまざまだが、ゴムボールを手で打ち、2塁ベース無しで走りまくった仲間との楽しい思い出がある。

が優勝、日本は準優勝し、今年は香港で開催予定の競技だ。5人制で、いわば投手抜きハンドベースボール。打者は自分でトスしたボールを手で打ち、守備側は素手で捕球する。

017年に競技化され70カ国以上でプレイされているとの情報もある。少子化で団体競技の編成が増々困難になるに違いない時に、誰もが気軽に楽しめるスポーツに育ってほしいと願うばかりだ。

誰もが気軽に参加できる 地域づくりが大切だ

年齢によりフィールド内にノーヒットゾーンが設けられ最初のバウンドは必ずそれ以外に打つなど誰もが気軽に取り組めるルールになっている。男女混合でチーム編成する種目もあるのが特徴だ。2

も別。水道の蛇口もレバー式など条件が数多く設けられる。地場産農産物の加工は地域魅力の大事な要素だ。小規模な製造業



咲きだしたコブシは花も多く農作物の収穫を楽しみしてくれる

者を守るのも魅力ある観光地の要素の一つと考えてはどうだろうか。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)